

# 令和5年度 環境で地域を元気にする 地域循環共生圏づくりプラットフォーム事業

## キックオフミーティング 配布資料

活動団体名：岡山県瀬戸内市

活動地域：岡山県瀬戸内市

活動におけるテーマ

『「瀬戸内市オリジナルSDGsカードゲーム」を  
活用した社会教育と学校教育の連携及び将来の  
担い手の育成』

本事業への関わり：2年目

# 活動団体と地域の紹介

- 平成16年11月に牛窓町、邑久町、長船町が合併し誕生
- 総面積125.46km<sup>2</sup>、人口36,048人(令和2年国勢調査)
- 瀬戸内海に面した丘陵地と、島々からなる：牛窓の多島美、迫門の曙
- 農業・漁業が盛ん：白菜、キャベツ、かぼちゃ、米、ぶどう、牡蠣
- 歴史と文化に彩られたまち：備前刀、竹久夢二、朝鮮通信使

## <特徴的なプロジェクト>

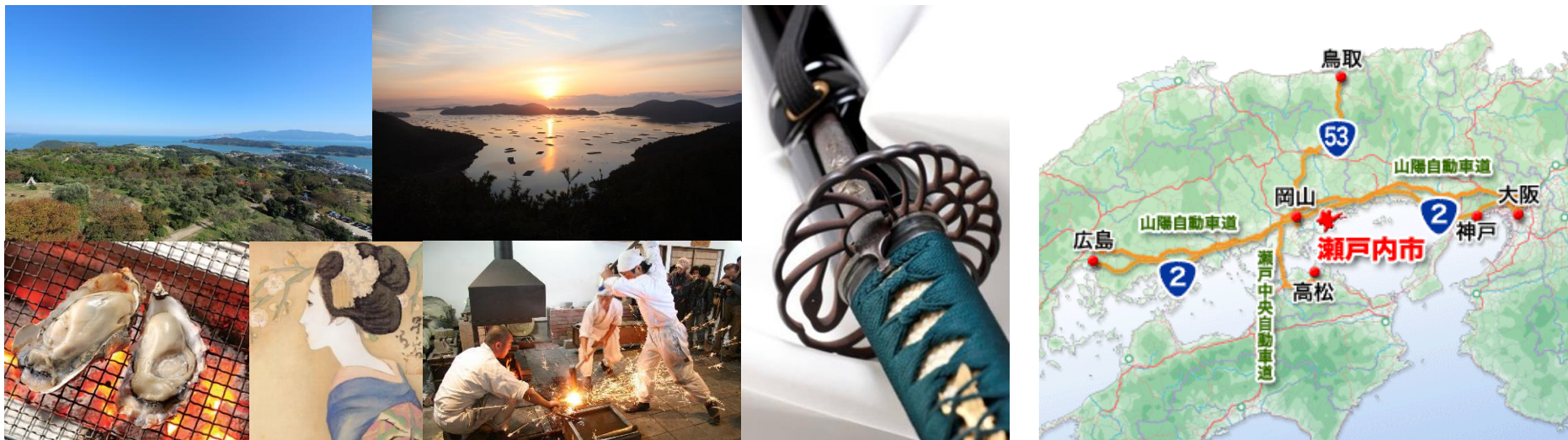
太陽のまちプロジェクト、山鳥毛里づくりプロジェクト、食のしあわせプロジェクト

瀬戸内市HP <https://www.city.setouchi.lg.jp/>

太陽のまちプロジェクト <https://www.city.setouchi.lg.jp/site/taiyounomachipj/>

山鳥毛里づくりプロジェクト <https://setouchi-cf.jp/village/about/>

食のしあわせプロジェクト <https://setouchi-cf.jp/food/about/>



# 地域の「ありたい未来」を実現するために何をするか

地域のありたい未来

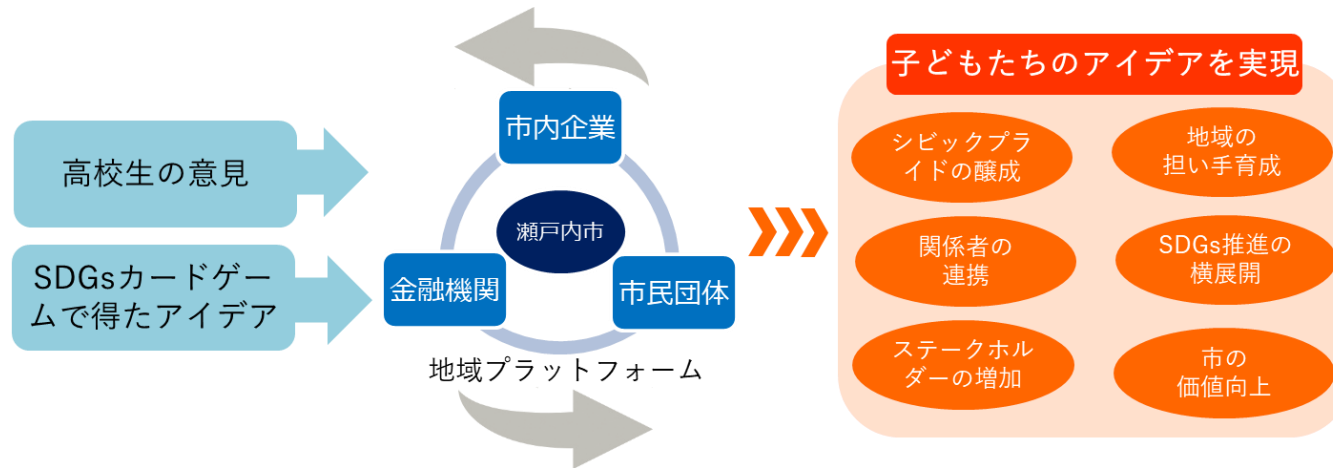
‘誰もが’しあわせに暮らせる地域づくり

第3次瀬戸内市総合計画に掲げるまちの将来像

「人と自然が織りなす しあわせ実感都市 瀬戸内」の実現

地域のありたい未来を実現するために、中長期的に見て必要な取組や仕組みは何か

- ・シビックプライドの醸成と地域づくりの担い手の育成
- ・地域資源を活用した地域内経済の好循環
- ・環境・経済・社会を統合的に向上させた住み続けられる地域の形成

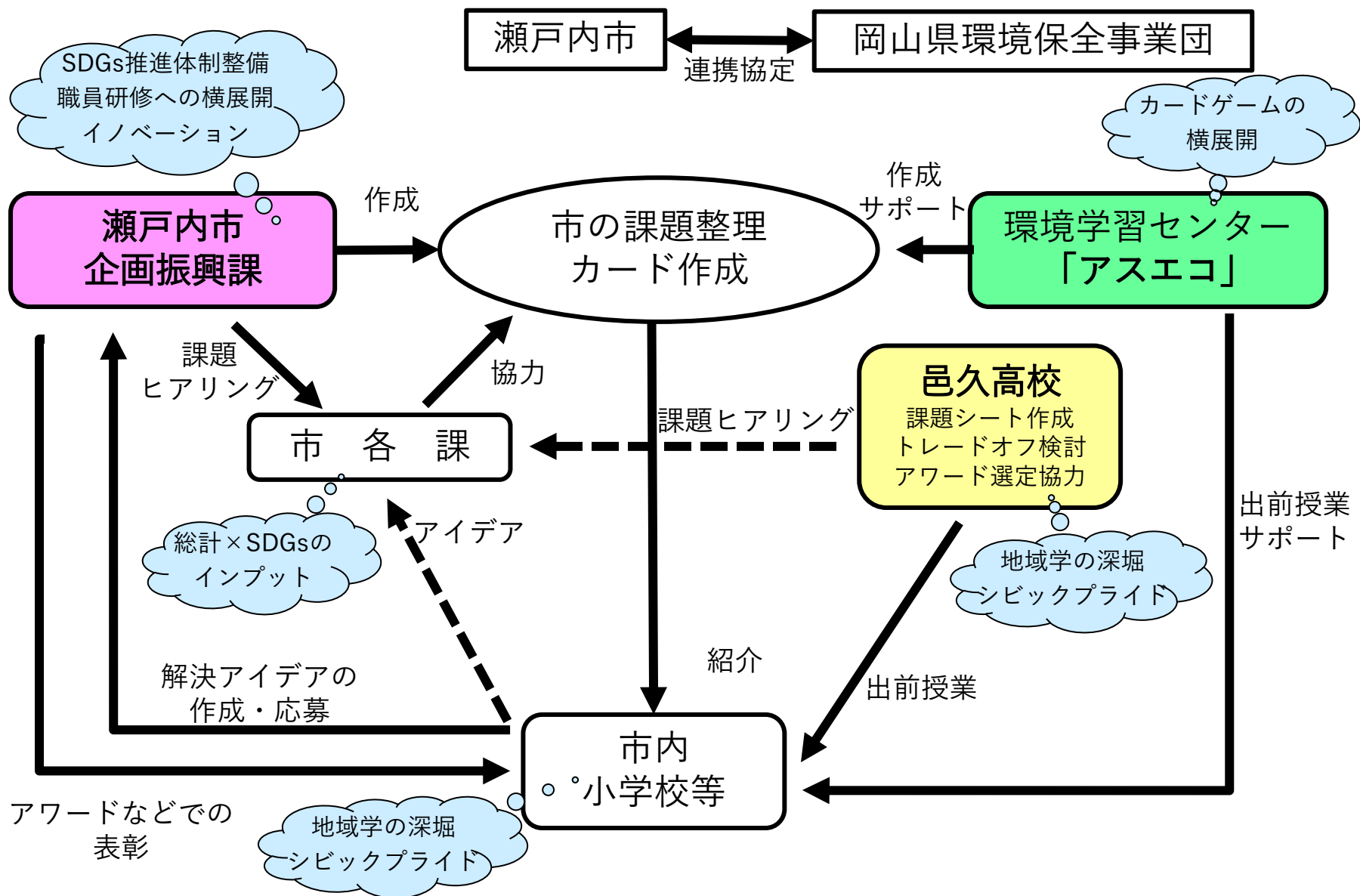


今年度取り組みたい事（本事業でチャレンジしたい事）

- ・カードゲームの実施（PDCAサイクルによる継続・発展）
- ・地域の担い手育成（地域主体のカードゲーム運営の仕組みづくり）
- ・地域版マンドラのブラッシュアップ（新たなステークホルダーの参加等）

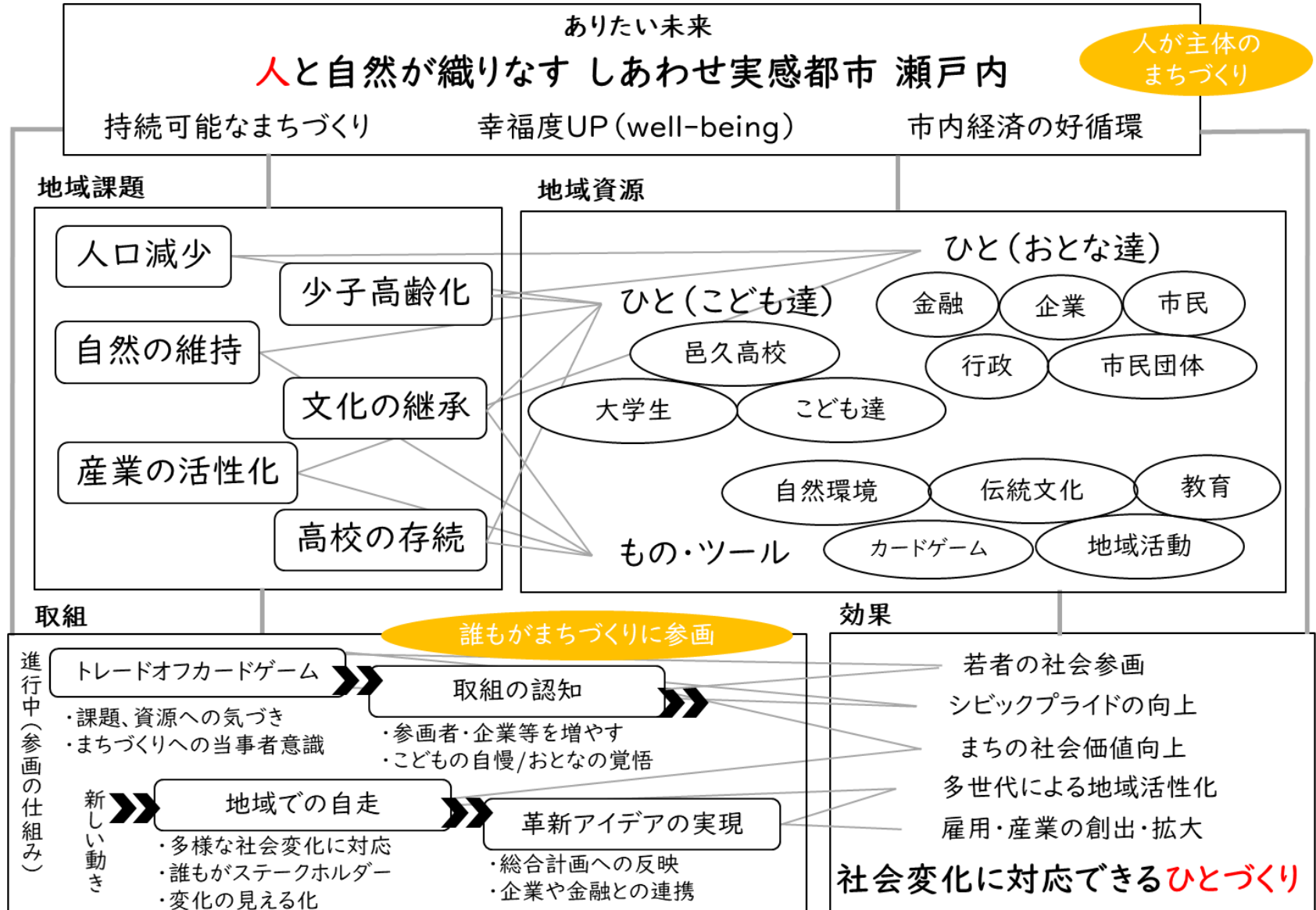
# 地域の「ありたい未来」を実現するために何をするか

「瀬戸内市オリジナルSDGsカードゲーム」のスキーム



# 現時点の地域版マンダラ

瀬戸内市版マンダラ ver.1.0 日本一のまちをつくる“ひとづくり”プラットフォーム



# 活動計画（概要）

## 地域プラットフォームを形成して 解決したい地域の課題

- 市の将来を担う子ども達の地域づくりへの参画意識の醸成
- 市に関わる多様な主体の情報交換・連携の場づくり（強み・弱みの共有と補い合う社会システム）

## 地域のありたい未来

- 地域課題を自分事化できる人材の育成（社会教育×学校教育）
  - 多様なステークホルダーが連携・協力したまちづくりの推進
- 「人と自然が織りなす しあわせ実感都市 瀬戸内」の実現へ

## 環境整備を通して構築する“地域プラットフォーム”のイメージ（体制、機能、規模感、等）

- ①市内小中学校及び市民等への出前授業の実施 → 市民等への周知・展開  
→ 事業アイデア募集 → 総合計画実行フェーズへの展開（PDCAサイクル）
- ②県立邑久高校によるカードゲームのバージョンアップ → 高校生による制度の深化
- ③ステークホルダーミーティングの実施 → ひとつづくり地域プラットフォームの構築

## 想定している資源（ヒト、モノ、資金、情報、等）※地域内、外も含む

- 岡山県立邑久高等学校
- 地域に関わる多様なステークホルダー（企業、大学、金融機関、地域自治組織、市民団体等）
- 地域資源（自然、歴史・文化、農産物等）

# 目指す“地域プラットフォーム”のイメージ

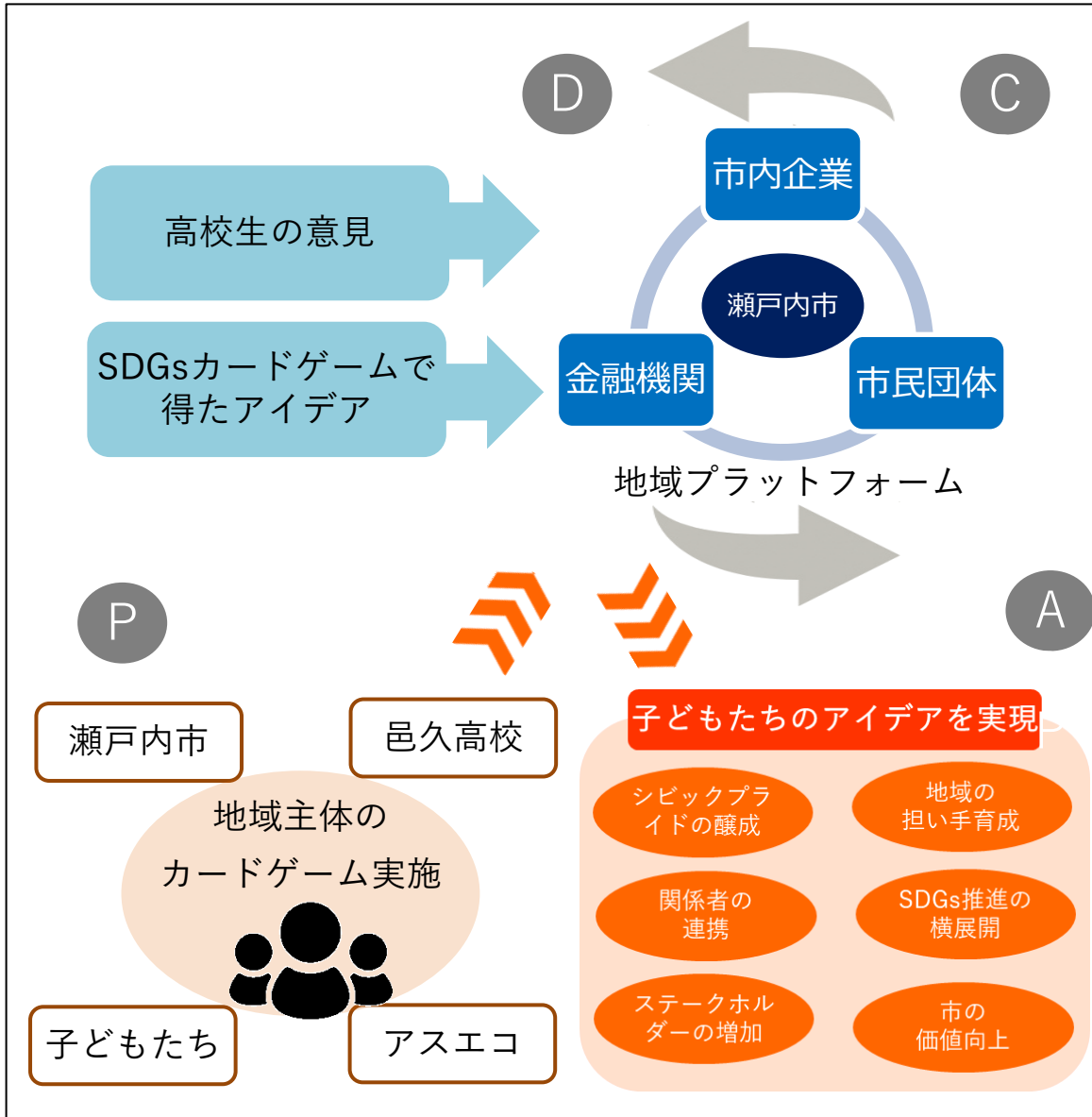
2023年3月 1年後の地域プラットフォームのイメージ

←新たに<sup>ステークホルダー</sup>加わってほしいSH

- ・ 市民団体
- ・ 地域コミュニティ組織
- ・ 市内企業（地域貢献）
- ・ 教育委員会 など

←想定している課題・阻害要因

- ・ 地域でのPDCAサイクルの自走に向けた仕組みづくり
- ・ 革新的アイデアの実現
- ・ 事業効果の検証方法
- ・ まちの価値向上に向けたPR など



# 年間スケジュール

